

# 大牟田市立松原中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校のESDの時間は、①問題を解決する力、②主体的、創造的な学び方、考え方、態度、③自己の生き方を考える力、実践する力を身につけさせていくことをねらいとしている。この態度や能力を育てるために、1年「福祉学習」、2年「地域探求学習」、3年「職場体験学習」を主要のテーマにし、各学年で特徴のある取組を行っている。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

1 学年「福祉学習」	2 学年「地域探求学習」	3 学年「職場体験学習」
<b>【5月】</b> ○オリエンテーション <b>【6・7月】</b> ○認知症の学習・絵本体験 ○高齢者疑似体験 ○アイマスク・車いす体験 <b>【10・11・12月】</b> ○介護体験学習の計画 ○福祉施設での介護体験 <b>【1月・2月】</b> ○職業調べ・高校調べ	<b>【5月】</b> ○オリエンテーション <b>【6・7月】</b> ○事前準備活動 ○地域探求活動 <b>【9・10・11月】</b> ○課題解決案の作成と検討 <b>【12月】</b> ○京都での探求活動 <b>【1月】</b> ○シンポジウム	<b>【5月】</b> ○オリエンテーション ○事業所調べ <b>【6・7月】</b> ○職場体験活動事前学習 ○職場体験活動 <b>【10月】</b> ○幼児期の発達段階学習 ○保育実習事前学習 <b>【11月】</b> ○保育実習

## 3 特徴的な活動事例

### < 2 学年「地域探求学習」 >

#### (1) 目標

大牟田・荒尾の世界遺産や史跡を見学したり、環境・エネルギー施設や伝統地域文化や祭りを継承する人や産業・農業・漁業に関わる人を訪問したりして、地域の文化・歴史や大牟田の現状を知り、大牟田が抱える課題を見つけ、その課題を改善する方法を考えたり、行動したりし、大牟田の未来についても興味関心を持って考えることができるようにする。

#### (2) 学習課題

「自分達が一生涯生活したいと思う大牟田市になるための方法を提案しよう」

#### (3) 取組

①大牟田市のよいところや課題を見つけるために、7月に6つのテーマのグループに分かれて、地域探求を行った。

地域探求グループ	訪問場所	課 題
世界遺産史跡、名所①	・大牟田市役所・宮原坑・三川坑跡	・観光客、リピーターを増やす
世界遺産史跡、名所②	・旧長崎税関三池支所・万田坑	・世界遺産として管理するための維持費
エネルギー、環境	・メガソーラー発電所・RDF発電所 ・リサイクルプラザ・RDFセンター	・平成35年以降、RDF発電がなくなった後の大牟田のゴミを今後どうするか
農業、漁業、まちづくり	・西山好房(農家)・オギハラ食品 ・三浦海苔生産漁業協同組合	・地産地消ができていない ・後継者問題
産業、まちづくり	・三井化学・信号電材株式会社 ・電気化学工業株式会社	・大牟田市に必要とされる産業や働く場所 ・人手不足、産業を生かしたまちづくり
伝統・文化	・四郎國光・草木饅頭江口栄商店 ・いなだ豆・大蛇山祭(諏訪神社)	・商品を広める方法 ・大蛇山祭に参加者の減少、祭りを広める方法

- ②各自が訪問場所の概要や抱える課題をまとめ全員分を冊子にし、発表会を行った。
- ③夏休みに課題の解決策の参考になる日本や世界の取組の先行事例調査を行った。
- ④課題解決策をまとめ、学年で発表会と解決策の検討を行った。

農業・漁業グループからの解決策は、「給食で大牟田でとれた野菜や果物を使ってもらおう」大牟田の名産の高菜やミカンやのりを使ったメニューとして、高菜チャーハンやミカンゼリー、ミカンパン、ミカンのフルーツサラダ、ミカンジャム、有明のりを使った手巻き寿司など。また「大牟田の会社やお店とのコラボレーション」「ラーメンに有明のりのトッピング、ミカンクリーム、ミカンクレープ」「イオンやゆめタウンなどのショッピングモールに大牟田産のコーナーをつくり試食などで魅力を知ってもらおう」などを提案した。

エネルギー・環境グループは、ゴミ焼却による二酸化炭素を出すのを減らすために、紙、ビニールなどの可燃ゴミのリサイクルを進めるために、分別して所定の場所に出すと重さに応じてカードにポイントがたまる大牟田電子マネーカードを作る。大牟田市のスーパーには大牟田産のコーナーをつくり、大牟田産の農産物・水産物・商品のみ購入に使えるようにし、大牟田産のものが売れるようにする。また、ゴミはリサイクル業者に出し、そのお金は農業・漁業の補助金として使う。また、生ゴミは、集めて微生物で発酵し、メタンガスと肥料にし、大牟田市の農家に無料で配布。メタンガスで発電を行い、電子マネーカードシステムの電源として使うことなどを提案した。

これらの提案に対して他のグループからの質問や修正意見を参考にしながら修正案を作成した。

- ⑤ユネスコスクールの日<sup>①</sup>に市議会議員と世界遺産・文化財室の坂井義哉<sup>②</sup>さんを招いてシンポジウムを開いた。

シンポジウムでは、6グループが、自分たちが調べた大牟田のいいところ、課題、解決策、大阪・京都との比較を発表した。それに対して、市議会議員や坂井さんから率直な意見やアドバイスを頂いた。

その発表会の様子が有明新報で紹介されたこともあり、大牟田市役所環境課から「環境・エネルギーグループ」の解決策を参考にしたいと本校を訪問された。そこで、「RDF発電事業終了後の大牟田市のごみ処理・ごみ問題」の解決策として提案した「電子マネーカードやアプリを利用したポイントシステムを導入したリサイクルと地産地消を関連した推進案」を紹介した。

(4) 生徒の感想

最初、なぜこのようなことをするのだろうと置いていたけど、学習していく中で大牟田市の良いところや課題を発見することができて良かった。僕たちの解決策が議会で提案されたらうれしい。これからは講師の方の意見を参考に、大牟田市をよりよい場所にするために考えて行きたい。

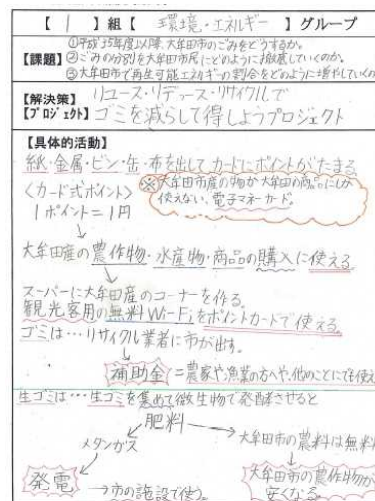
4 本年度の成果と課題

○成果

- ・自らの問題として探求活動や問題解決に主体的、創造的に取り組むことができた。
- ・自分達の住む大牟田市のよりよい未来づくりに主体的、継続的に参画する態度を養うことができた。

○課題

- ・大牟田の良さと課題が見えやすい訪問先の選定と解決策の提案場所と方法を工夫すること、及び、調査のための予算面を考える必要がある。



【環境グループ解決策】



【シンポジウムの様子】